

3 ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営

(6)	市民利用施設のあり方の検討	<取組所管> ・取組①～③：局・室
-----	---------------	----------------------

□ 3年間の取組と成果の総括

・施設の性格に応じた3つの区分に従って、施設の廃止・転用や機能統合などに取り組んだことにより、市民ニーズに応じた利用や施設配置の実現に繋がった。

□ 3年間の取組状況

・「局及び市改革プロジェクトチームにおいて検討する施設」について、各所属が策定した実施計画をとりまとめ、公表した（平成25年2月）。（取組①）

・実施計画の進捗状況を把握・点検し、実施計画に沿った見直し内容を平成26・27年度予算に反映した（予算反映額：各年度約2億円）。（取組①）

・平成25年度末時点及び平成27年2月時点の実施計画の推進状況を取りまとめ、公表した（平成26年4月、平成27年2月）。（取組①）

・「区長が区の特性に応じて検討する施設」について、施設の利用状況等のデータを区長会議に提供する（平成24年9月、25年2月、25年9月、26年2月）など、区長による見直し案の作成の支援を行ったが、区割り案の絞り込み後でなければ廃止・縮小施設を特定できないため、見直しが延期されてきた。（取組②）

・「体育館、大阪プール、文化施設等」について、府市統合本部において、基本的方向性を取りまとめる（平成24年6月）とともに、基本的方向性に基づく工程表を公表し、取組を精査した。（平成24年9月、25年2月、25年8月）（取組③）

【取組の実施状況】取組①：A、取組②：B、取組③：A

□ 成果目標の達成状況

目 標	実 績	評価区分
市民ニーズに応じた利用や施設配置の実現 （個別実施計画の策定時に効果を明示）	「局及び市改革プロジェクトチームにおいて検討する施設」については、策定した実施計画に基づき、廃止・転用や機能統合のほか、収支均衡に向けた取組を行い、予定していた約2億円の維持管理費の削減を行った。	①

□ 課題と今後の方向性

・「区長が区の特性に応じて検討する施設」については、区割りの議論の動向を踏まえて、廃止・縮小に向けた検討を進める。

・「体育館、大阪プール、文化施設等」については、引き続き、基本的方向性の実現に向けて、それぞれの工程表に基づき取組を進める。

※「実績」欄の平成26年度決算額は見込額。

【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった
 〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった